経皮的冠動脈インターベーション（PCI３泊４日）Ver.3

ステップ名称		入院日	検査前	検査後		
		1日前	基準日		1日後	2日後
			検査前	検査後		
目標		■治療に対する不安が軽減し、安心してPCIが受けられる	■安心してPCIを受けることができる	■PCIに伴う合併症がなく経過でき、予定通り退院できる		
検査	放射線		心臓カテーテル治療があります		レントゲン検査があります	
	検体検査				採血検査があります	
	生理検査				心電図検査があります	
投薬		通常通りお薬は内服して下さい 中止するお薬がある場合は説明します	午前検査の方は朝６時に内服してください。 午後検査の方は朝食後に内服してください。		医師の指示により内服を再開します	医師の指示により内服を再開します
		通常通りお薬は内服して下さい	検査のため、内服している糖尿病のお薬は１日中止となります			
注射		点滴があります	点滴があります	医師の指示後、点滴を抜きます		
			点滴があります	点滴が翌日の朝まであります	点滴が翌日の朝まであります	点滴が翌日の朝まであります
			点滴があります			
			PCIセット			
異常時指示		痛みなど症状が強い場合は遠慮なく申し出てください 必要に応じて処置を行います	痛みなど症状が強い場合は遠慮なく申し出てください 必要に応じて処置を行います	痛みなど症状が強い場合は遠慮なく申し出てください 必要に応じて処置を行います	痛みなど症状が強い場合は遠慮なく申し出てください 必要に応じて処置を行います	痛みなど症状が強い場合は遠慮なく申し出てください 必要に応じて処置を行います
食事			朝食はたべられません	帰室後から飲水可能です ﾊﾞﾝﾄﾞ解除後に食事が可能です		
			朝食は半分だけ食べられます 昼食は食べられません			
バイタル		１日１回体温や血圧などを測ります	起床時と検査室に行く前に体温や 血圧などを測ります	医師の指示に従って時間おきに体 温や血圧などを測ります	１日２回体温や血圧などを測ります	１日２回体温や血圧などを測ります
		胸部症状や呼吸状態について観察します	胸部症状や呼吸状態について観察します	治療後の症状について観察します	治療後の症状について観察します	治療後の症状について観察します
処置		心電図モニターを装着します	心電図モニターを装着します	心電図モニターを装着します	心電図モニターを装着します	心電図モニターを装着します
		体中の酸素の量を指先で測定します	体中の酸素の量を指先で測定します	体中の酸素の量を指先で測定します	体中の酸素の量を指先で測定します	体中の酸素の量を指先で測定します
			両手足の脈の触れる箇所にﾏｰｷﾝｸﾞを行います	血栓予防のため両足に器械を装着します	尿の管を抜きます	
			治療上必要なため、尿の管を挿入します	帰室後２時間でバンドを解除します		
			治療上必要なため、足のつけねの 毛をそります	帰室後６時間で固定テープを少し 緩めます		
			造影剤は心カテ室の物を使用	帰室後８時間で固定テープを少し 緩めます		
			点滴右手留置 CAG22G・PCI20G（PCIスタンバイ			
			点滴左手留置 CAG22G・PCI20G（PCIスタンバイ			
看護		活動の制限はありません 病棟を離れる場合は看護師に声を	車椅子にて検査室へ入室します	帰室後よりトイレ歩行は可能です	帰室後よりトイレ歩行は可能です	帰室後よりトイレ歩行は可能です
		入浴はできませんがシャワー浴は 可能です	ｽﾄﾚｯﾁｬｰにて入室します	ベッド上安静のため、ベッドから 起き上がりできません	ベッド上安静のため、ベッドから 起き上がりできません	ベッド上安静のため、ベッドから 起き上がりできません
		看護必要度 救護区分	看護必要度 救護区分	看護必要度 救護区分	看護必要度 救護区分	看護必要度 救護区分
教育指導	栄養指					
	その他	入院時医師からの説明があります	メガネを普段使用されている方は 入室時にメガネを持参してくだ			退院後の生活について、パンフレ ットで説明します
		看護師から入院中経過や準備物品 （バスタオル・T字帯）の説明				
医療安全	転倒転	転倒・転落アセスメントスコア				
	褥瘡管	褥瘡管理				
	その他	アレルギーの確認を行います				
文書		内服薬自己管理決定基準				退院後の療養計画書をお渡しします
		医師からの説明後、同意書にサイ ンをいただきます				
		入院時に診療計画書をお渡しします				
その他						